
新しいLODエディタ：概要とワークフロー

Almaのリンクトオープンデータ（LOD）エディタは、合理的で直感的、そしてオントロジーを意識した編集エクスペリエンスを目録作成者に提供するよう設計されています。シンプルさと柔軟性を維持しながら、リンクトデータの優れた機能を日常のワークフローに取り入れます。

LODエディタの主な機能は次のとおりです：

- オントロジーによって導かれる統一されたフォームベースのインターフェースであり、将来的に他のRDF/LODフォーマットのサポートを可能にします。
- 目録作成者のニーズに合わせた最適なワークフローをサポートする、ユーザーフレンドリーで柔軟な設計となっています。
- Almaのリポジトリと完全に統合されており、ユーザーはすべてのタイトルと作品の検索結果から、作品とインスタンスを直接作成および編集できます。
- リンクトデータおよびブロックアップサービスへの組み込みに対応しているため、目録作成時にエンティティを信頼性の高いソースにシームレスにリンクできるようになります。
- レコードとテンプレートの作成がシンプルで直感であるため、導入が容易で一貫性を維持しやすい特徴があります。
- ラベル中心のユーザーエクスペリエンスを備えたオントロジー駆動型ワークフロー — URIや外部ソースへのナビゲーションといった技術的な詳細を、それらを必要とするユーザーがワンクリックで利用できるようになっています。

BIBFRAMEは空白ノードの使用に対応しているため、Alma LODエディタではレコードとテンプレートの作成にトップダウン構造を採用しています。

空白のフォームからレコードまたはテンプレートを作成する

Note

レコードとテンプレートの作成に関する詳細については、[BIBFRAMEレコードとテンプレートの作成と編集](#)を参照してください。

ユーザーはまず、目録を作成するエンティティのクラスとサブクラスを選択し、既存のテンプレートを使用するか、空白のフォームから作成するかを決定します。

Catalog BIBFRAME Record

Select Class

Work ▼

Create from Template Create Blank

Select Sub Class

Monograph ✕
Text ✕

Cancel Catalog

新しいレコードを作成する

空白のフォームからレコードを作成する場合、クラスとサブクラスを選択すると、最初の空白フォームが開きます。このフォームには、メインタイトルに最小限必要なセクションが含まれています。インスタンスフォームの場合は、インスタンスを作品にリンクするための追加フィールド (bf:instanceOf) が含まれます。

テンプレートからレコードを作成する場合、サブクラスはテンプレート構造の一部であり、サブクラスを選択する必要はありません。すべての定義済みフィールドを含むテンプレートが開きます。

目録作成者は、フィールドまたはセクションのいずれかを追加できます：

- フィールドは、識別子、主語、あるいはbf:instanceOf（作品へのリンク）やbf:expressionOf（ハブへのリンク）のような他のエンティティへのリンクなど、単独でRDFトリプルを構成するプロパティに使用されます。
- セクションは、空白ノードを表すためのコンテナが必要な場合に使用されます。各セクションは、オントロジーで定義されているプロパティとクラスに関連付けられています。セクション内で、ユーザーは各セクションのクラス（およびプロパティ）を選択して、追加のフィールドを追加できます。

Summary

MMS ID 9730817400121
Class bf:Work
Subclass http://id.loc.gov/ontologies/bibframe/Monograph
Subclass http://id.loc.gov/ontologies/bibframe/Text
Administrative metadata https://id.loc.gov/ontologies/bibframe/Text
URI https://id.loc.gov/ontologies/bibframe/Text

Quick Access

Title resource - Title entity

Main title Evidence and Inquiry × Part number Part IV × Subtitle Toward Reconstruction in Epidemiology ×

Add Field

サンプルタイトルセクション

LODエディタでセクションの追加またはフィールドの追加を選択すると、プロパティとクラスの両方を選択するように求められます。これらの選択は、BIBFRAMEおよびBFLCオントロジーによって決定されます。

- プロパティは、追加される関係または属性を定義します。
- クラス（該当する場合）は、期待値または構造の型を定義します。

この構造は、次のような複雑なメタデータ要素に対応しています：

- タイトルセクションは、プロパティ `bf:title` とクラス `bf:Title`（またはそのサブクラスのいずれか）で作成され、タイトルの異なる部分を記述するためのプロパティ `bf:mainTitle`、`bf:partNumber`、`bf:partName` を含みます。
- 管理メタデータセクションは、プロパティ `bf:adminMetadata` およびクラス `bf:AdminMetadata` を使用して作成され、メタデータ自体に関するメタデータを記述するためのプロパティを含みます。次はその例です：
`bf:creationDate`、`bf:assigner`、`bf:encodingLevel`、`bf:decriptionConventions`、
`bf:descriptionLanguage`。
- 刊行頻度セクションは、プロパティ `bf:pubFrequency` と、クラス `PubFrequency` を使用して作成され、シリーズ刊行物の詳細を記述するためのプロパティを含みます。次はその例です：`bf:frequency`、`bf:status`、
`bf:firstIssue`、`bf:lastIssue`。

レコードを編集する場合、Almaではセクションの追加またはフィールドの追加が可能です。この柔軟性により、目録作成者はデータを正確かつ効率的にモデル化できます。

The screenshot shows the 'Title resource - Title entity' editor. It displays three fields: 'Main title' with the value 'Evidence and Inquiry', 'Part number' with 'Part IV', and 'Subtitle' with 'Toward Reconstruction in Epi...'. Below the fields are 'Add Field' and 'Add Section' buttons, both of which are highlighted with a red rectangular box.

セクション／フィールド追加のオプション

フィールドやセクションを追加するときに、プロパティとクラスの提案させる方法

Alma LODエディタで目録を作成する際、システムはBIBFRAMEおよびBFLCオントロジーで定義された構造と規則に基づいて、プロパティとクラスを提案します。これにより、作成するメタデータが意味的に正確になり、リンクトデータ標準に準拠できるようにします。

詳細については、[AlmaがBIBFRAMEとBFLCオントロジーを使用してレコードを作成する方法](#)を参照してください。

ステップ1：プロパティの選択

フィールドやセクションを追加する際の最初のステップは、プロパティを選択することです。

プロパティのドロップダウンリストは、次のいずれかの条件に該当するすべてのプロパティをリストアップします：

- このプロパティは、オントロジーでレコードのキークラス（`bf:Work`または`bf:Instance`のいずれか）と共に使用されると定義されています。
- このプロパティには特定の値は使用されていません
(つまり、未定義であるか、`rdf-schema#Resource`として広く定義されています)。

これにより、コンテキストに関連するプロパティのみが表示されるだけでなく、より汎用なプロパティも柔軟にカバーできるようになります。

Note

セクションを追加する場合、データ型プロパティは追加のフィールドを含めることができないため提案されません（テキストのみを含めるように定義されているため）。したがって、クラスの**選択**が必須です。

ステップ2：クラスの選択

プロパティを**選択**した後、クラスを**選択**するように求められることがあります。クラスのドロップダウンもオントロジーに基づいて動的にフィルターされます：

- プロパティに定義済みの**期待値（範囲）**がある場合、ドロップダウンには次が表示されます：
 - クラスは「期待値」として定義されます。
 - そのクラスのすべてのサブクラス。
- プロパティに定義された期待値が**存在しない**場合、ドロップダウンには利用できる**すべてのクラスが含まれます**。
- プロパティが、（文字列や日付などのリテラル値を予期する）**データ型プロパティ**である場合、クラスドロップダウンは**表示されません**。

クラスリストには常に**なし**を選択するオプションがあり、`bf:subject`、`bf:expressionOf`、`bf:genreForm`など、クラスが不要なケースに対応します。

Note

オントロジー内のすべてのプロパティに、期待値として定義されたクラスが存在するわけではありません。このような場合、フィールドを追加するときにクラスの**選択**はオプションになります。ただし、セクションを追加する場合はクラスの**選択**が必須となります。これは、そのセクション内でフィールドを追加するために提案できるプロパティを、クラスが決定するためです。クラスが**選択**されていない場合、セクションはフィールドの追加に**対応**しておらず、フィールドを追加するオプションは無効化されます。
